

第1回流山市市民参加推進委員会 議事録（概要）

- 1 日 時 平成30年4月23日（月）午前10時～正午
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階 301会議室
- 3 出席委員 井原委員、吉永委員、秋山委員、今村委員、國府田委員、森委員、山中委員、上平委員、和田委員、坂井委員
- 4 傍聴人 無し
- 5 事務局 井崎市長、湯浅市民生活部長、樋口コミュニティ課長、中橋課長補佐、川名係長、内田主事、香月主事
- 6 協議事項
 - (1) 平成30年度審議スケジュール等について
 - (2) その他
- 7 諮問

～～会議に先立ち市長から委員長へ諮問書の受渡し～～

市長

平成24年に市民参加条例ができ、条例がきちんと定着するようにとのことでこの委員会ができた。多くの自治体は条例を制定して終わりだが、流山市は市民参加推進委員会でチェックし、条例が具体化され、定着するように審査や提言をお願いしている。この数年で、高評価をいただいている課も出てきたが、市職員や市民にも更に市民参加を定着させていく必要があると思っており、この委員会の果たす役割は大きいものと認識している。

～～市長退席～～

8 協議内容

事務局

市民参加条例第27条に基づき、これより先の議事進行を井原委員長にお願いする。

委員長

それでは始める。本日は全員出席で会議は成立していることを報告する。

議題(1)「平成30年審議スケジュールについて」事務局に説明をお願いする。

事務局

初めに、配布資料の確認をする。予めお配りしているファイルを確認いただきたい。平成29年度に終了した事業のホームページIDなどを記した一覧の後ろに、11事業の結果シートをつけた。

その下に平成29年度未実施事業の予定シートがついている。これは、市民参加手続の対象事業であっても、上位法令や計画等の法令文や金額基準などを引用、適用するなどにより、市民の意見を反映する余地がないものや、緊急の場合等に市民参加の対象としないことができるという市民参加条例第5条2項の規定に基づき市民参加手続きの適用除外としたものである。

その他に、継続事業や平成30年度から新たに市民参加手続を行う事業をお配りしている。

平成29年度の答申の中で、図書・博物館の「流山市子どもの読書活動推進計画」や、社会福祉課の「流山市地域福祉計画」の事業が良い事例という評価をいただいた。またパブリックコメントについては、もっと積極的にやるべきという話があり、パブリックコメント8箇条の提言をいただいたので、その内容と答申そのものを各職員が見ることのできる庁内システムで配信を行い周知した。

以前は、パブリックコメントを実施しても意見をいただかなかったという事業がほとんどだったが、昨年度は意見をいただいた事業が増えており、この委員会で評価・答申をいただいていることの効果が出てきていると思われる。

今年度の諮問は、平成29年度の市民参加条例の運用に関する評価及び改善についてである。

昨年度は平成28年度に終了した12事業全てのヒアリングを行い、評価シートと答申をまとめる形であった。

今年度については、平成29年度の終了事業が11事業あり、全ての事業の

ヒアリングを行うのか、抜粋するのかご審議いただければと思う。委員会の開催スケジュールについては、5月、6月にヒアリング、7月に評価シートとりまとめ、8月に答申という流れを想定している。

委員長

今年度のヒアリング対象について意見をお願いしたい。

A委員

既にヒアリング日程表があるようである。

委員長

事務局が案として作ったものであり、これについても話し合うこととしたい。

市長から諮問があったが、運用に関する評価であるため結果に対する評価ということになる。現在、市民参加手続きを継続中の事業の方が大事だという考え方もあるかもしれないが、終了した事業について評価し、余力があれば継続中のものに対しても意見することにした。

B委員

終わった事業にばかりでは意味がないため、継続中の事業について配慮しながらやるべきと考えるが如何か。

C委員

同意見である。そろそろ次のステップに行くべきと考える。今までのものが軌道に乗っているので、次に何をすべきか考える方が良いと思う。短いスケジュールであるがやれればと思う。

D委員

継続中の事業について、議論してこういう風にすべきだと提案し、反映するということか。

委員長

これまで答申した内容が今後の事業に反映されているか気になるところはあるが、11事業をしっかりとやりましょうという意図で発言したものである。

D委員

今年度継続中の事業や新規事業にヒアリングし、提言するということか。

B委員

諮問はそうはなっていない。平成29年度の事業について評価すべきであるが、委員長が言ったように過去のことが継続中の事業に反映されているか気になる。目配りは必要なので、出来ていないのであれば今までと同じことを繰り返すということではなく、答申の中に今後に向けて各課でしっかり対応してもらいたい旨を申し入れたい。

C委員

諮問対象である11事業はしっかり評価するが、継続中の事業をチェックし、こういう風にしましょうと提案し、反映されるかどうか分からないが気になることがあればもう1歩ということにしたい。

B委員

しっかりと市民参加手続きを実施しているならば、それを評価してあげたい。

A委員

継続中の事業に提言するということであるが、行政側としては何らかのセッションがあった場合、それを継続している事業担当課にお願いすることはできるのか。

事務局

各事業実施部署において、関係審議会でも市民参加の手法等についても議論されている可能性がある。そういった中で市民活動推進委員会からの御提案への対応をお願いするのは難しいと思われる。

C委員

反映するのが難しいのは分かっているが、答申に入れたら良いのではないかと考えている。

E委員

委員会ができて2年目の時、前年度終了事業が1事業で、その時は継続中の事業にヒアリングを行い、答申は終了した1事業に対してのみ述べた年があった。結局次年度に終了した時点で評価する事業として上がってきたことを考えると、担当課には2回お手間をかけることになる。そのため余力があっても、気を遣うべきと感じている。昨年度いただいた資料の中には、平成29年新度

規事業で平成30年度も継続となっている事業や、ずっと継続中のものもある。その辺の声掛けのタイミングは慎重に考える必要がある。模索していた数年前から考えると今年度は市民参加未実施事業をまとめていただいたのは大変ありがたい。これらは、納得できる内容だったので、上位法令が変わった事業はこのようにまとめていただくとありがたい。

C委員

ヒアリング日程は事務局作成案で良い。ヒアリングを新年度分にまでする必要は無いと思っているが、資料を見て答申に入れることで良いと思っている。この日程で納まるならば、11事業の実施担当部署に聞いても良いと思う。

F委員

市民参加推進委員を担って3期目になるが、最初に比べると提案が色々取り入れられていることを感じるため嬉しく思う。改めて聞くが、平成29年8月に出した答申に対し、役所内では具体的にどのような取扱いをしているのか。

事務局

関係部署に情報共有できる庁内LANシステムがあり、その中で答申そのものを見られるようにしている。また全部署への通知文には、答申に配慮して手続きをするように記載するなどして配信している。

F委員

各部署の温度差があると思うが、それがシートに表れてくると考えている。部署によっては反映し改善してくる部署もあるが、そうでないこともある。尽力いただいている実感はあるが、さらなる啓蒙をお願いしたい。

G委員

来年度継続事業を実施している担当課に今の機能をチェックしてもらいたい。担当課から推進委員会に途中経過を見てもらいたいとか、各部署からの要望や相談はあるのか。

委員長

ルーティーンとしてはコミュニティ課が窓口でやっているということだと思う。

事務局

市長までの意思決定や議会の議決を得るなどして終了している事業の事後評価をいただく場であるため、この委員会は重要なものと認識している。

関係審議会でどのような手法を選択するか諮っている部署もあるようなので、違う手法にすべきと提案しても簡単に変えることができないという事情もある。

自治体によっては、条例を作って終わりのところも多いが、流山市では結果について評価をいただく形となっているため、この委員会は非常に大きな意味があると考えている。

最近、福祉部門等で市民参加の手法を行った際に、市民等から意見を沢山いただいているところもあるので、そのようにしっかりと手続きが行われている部署の評価をしなくても良いのではないかという議論もあるかと思う。

B委員

この委員会が始まって3期の区切りの年度なので、この委員会の評価が反映されているかどうかチェックをすべきと考えた。

A委員

それをするには、現場でやっていることを聞かなければ分からないと思う。

B委員

結局、そういう状況に進んでいるかどうかを見る必要があるということである。諮問の内容について議論するというのであれば、不要なことだが、本委員会の内部としては意識を持ちたい。

A委員

実際、継続中の事業についてやりたいという思いがあるが、システム上できないのではないか。

B委員

先ほど「未実施事業」として説明のあったものは、「実施免除」、「実施対象外」等のように、言葉を選んだ方が誤解がないと思われる。

委員長

事務局には、「未実施事業」についての表現は工夫してもらいたい。

A委員やF委員の意識は良く分かる。この委員会には仕分け機能はなく、予算を審査するのは市議会なので、執行を左右するようなことをこの場で提言で

きないという状況がある。ある種の内部監査機能であり、職員の意識を変えることが主な目的であるが、なかなか意識の変わらない部署もあり、上手くいかない部分もある。

昔、民主党が仕分け機能を持ったが、それとは違い難しいものである。

D委員

事業の評価ランクをつけている。査定に反映させることはできないのか。

事務局

本委員会による事業評価結果は、答申として全庁配信しているので悪い評価に対する印象を持つ可能性はあると思われるが、財政の評価には反映していない。

A委員

審議会という機能の限界とは言えないが、我々の役割の限界だと思う。答申は強制できないものなので悩ましい。あとは答申について如何に行政側が受け止めるかということになる。

副委員長

スケジュールに組み込むのは難しいが、今後の方向性を見ながらメールで共有することはできると思う。平成30年度のものについて、自由に意見交換し、一般的に通用しそうなものが出てくれば答申に組み込めば良いのではないか。

委員長

継続事業に都市計画課が担当するものがあるが、今回ヒアリングするチャンスが無い。景観条例で歴史的な風景を保存するなどであれば、エアコンの室外機を美しく保つなど市民生活に影響するものであろうが、その部署とのコンタクトがない。そういう意味では、継続中の事業も踏まえていきたい。

E委員

経過を「見える化」したい。ヒアリングで答申にということではなく、経過報告を事務局からして欲しいということをお願いできないか。

事務局

できる限り対応したい。

委員長

まずは11事業についてしっかり評価したいので、対象事業全てをヒアリングするということが良いか。次回の第2回委員会の日程は、月曜日の午前中をお願いしたいが、5月21日かどうか。

E委員

21日は都合が悪く、14日は可。

H委員

昨年同様に、事前に質問を出すスケジュールで考えているか。

事務局

H委員ご指摘のとおり、今年度も事前質問を行うことを考えたいが、3週間程度は必要と考えている。

事務局

14日の開催となる場合は、庁内行事の関係があるため、午前中をお願いしたい。

委員長

14日の午前中をお願いできるか。

事務局

では、14日午前中とさせていただきます。

委員長

5月14日の開催ということでお願いする。開始時間は9時40分からで良いか。

事務局

委員会としては9時30分にお集まりいただき、ヒアリングは9時40分から行うこととさせてもらいたい。

委員長

第3回委員会は、6月4日かどうか。

D委員

数週間不在なので、私は外して欲しい。

A委員

4日は都合が悪い。

G委員

4日であれば何とかできると思う。

委員長

都合の悪い方もいらっしゃるようだが、6月4日9時30分からの開催としたい。

第4回目はどうするか。

事務局

7月23日午前9時30分かどうか。

委員長

7月23日午前9時30分からの開催としたい。

事務局

第5回目は、8月27日の14時頃からかどうか。スタート時間はその前までの委員会の進捗状況次第で、15時頃からはなることもお含みおきいただきたい。

委員長

懇親会は最後なのでできればやりたいと思っている。15時暫定で予定したい。スケジュールはそのような形でお願いしたい。

評価シート等のフォーマットはどうか。

事務局

昨年度、評価シートを整理し、固まったという認識でいるので昨年度と同じフォーマットで考えている。ご意見があれば伺いたい。

D委員

議論して変えたので、あまり変えるのもどうかと思う。

委員長

議題（２）「その他」について事務局に説明をお願いします。

事務局

本日の議論結果を確認したい。

平成２９年度に市民参加手続きを終了した１１事業を全てヒアリングする。スケジュールは全５回で、今回が第１回、第２回が５月１４日９時３０分から、第３回が６月４日９時３０分から、第４回が７月２３日９時３０分から評価シート取りまとめ、第５回が８月２７日１５時から答申のまとめという予定。

また、先程、Ｇ委員から担当部署から市民参加推進委員会に質問したいという意向がないかというお話をいただいたが、各担当部署からそうした要望や相談は得にない。

事務局

平成３０年度の継続事業について、担当部署に確認し、コミュニティ課で進捗を報告することについては、どのような形で行ったら良いか。

D委員

メールでやりとりし、内容によって議論するということで良いと思う。その中で事務局にお願いすることにしたい。

委員長

他はないか。

A委員

５月１４日、第２回委員会のヒアリングだが、これについて事前にメールで質問や考え方を通知するということが良いか。

事務局

ヒアリングする事業にお目通しいただいて、質問したい事項があれば事務局にメールをいただき、各部署に投げる形を昨年度は取っていた。今年度は今週中に質問をいただき、５月２日には関係部署に質問事項を通知したい。どうしても間に合わないということであれば、５月１日午前中にメールをいただきたい。

H委員

エクセルの表があったような気がするが。

事務局

こちらでいただいた意見をまとめたものであったが、必要であれば各委員に送付する。

委員長

そのフォーマットは使っても使わなくても良い。

B委員

回答は電子配信か。

事務局

昨年度は電子配信としたが、当日直接聞く形でも良いと思う。まとめたものを一度お送りした方がよろしいか。

B委員

連休が入るので、日程的に大丈夫かということである。

事務局

担当課にお願いするという形で進める。

B委員

4月27日までに欲しいということか。

事務局

できれば、4月27日までにお願いしたい。遅くとも、5月1日の午前中までに届くようお願いしたい。

F委員

今回の評価は、+（プラス）－（マイナス）は付くのか。+（プラス）－（マイナス）があると決めにくい。感覚の問題で－（マイナス）を付けるということだと思うが、どうした理由で判断すれば良いのか迷うところである。この「ちよつと」とは何か、理由付けが難しい。

A委員

確か、委員の評価にばらつきがあって、B評価が5つで、Cが6つとかいう場合に、それを反映した形だったと思う。

F委員

それは個人でやらなかったかということか。

A委員

集約するときに使ったはずである。

委員長

個人の時に+（プラス）－（マイナス）があったかどうか。

事務局

項目がいくつもあり、総評のところでは+（プラス）－（マイナス）があった。評価がA、B、Bといった場合に、平均を取るためにBの+（プラス）やAの－（マイナス）をつけていただいたかと思う。

D委員

B、B、BもB、B、Cも同じ評価ではおかしいという中でやったものだ。

委員長

個人では、A、B、Cをしっかりと付けることでお願いしたい。

C委員

統合する時にAよりBということでやった。

委員長

他になれば、以上で終了としたい。ありがとうございました。